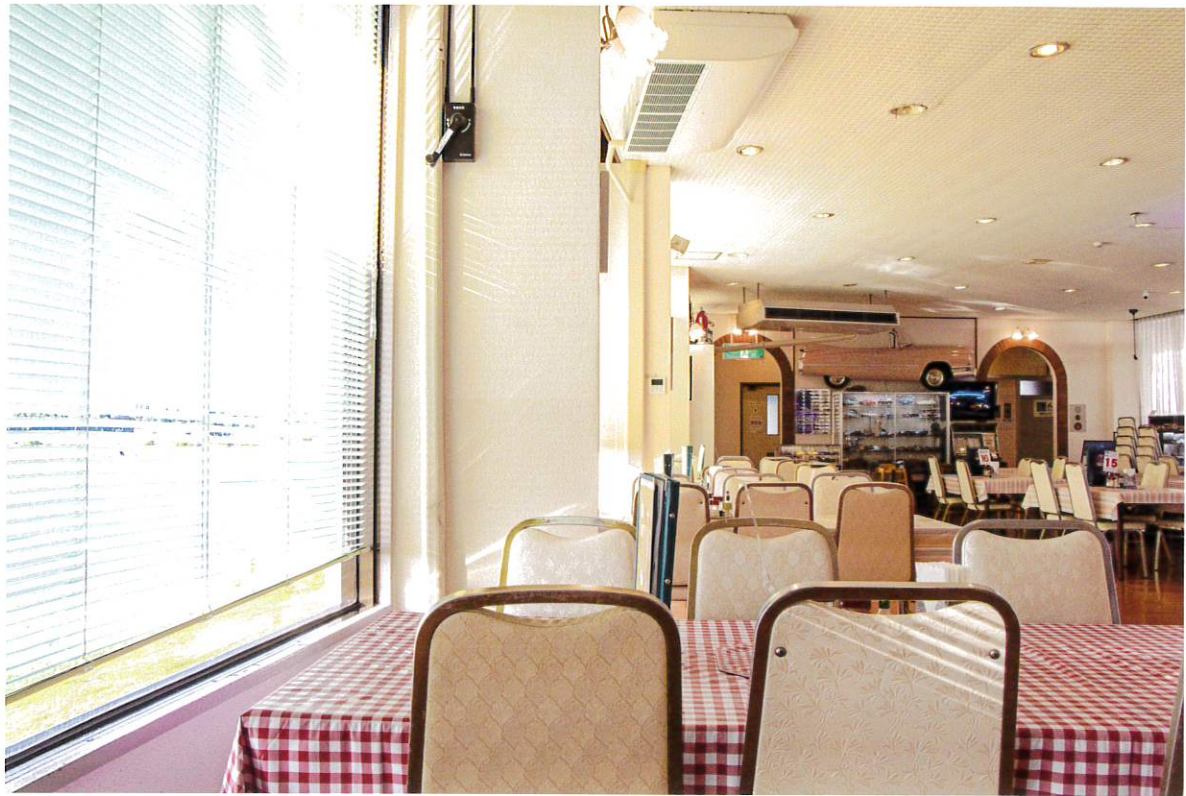


Uehara Sayaka: Even If All the Ruins Were Swept Away without a Trace



「眠る木」

あざみ野フォト・
アニユアル2026
たとえば
すべての瓦礫
が跡形もなく
きれいに
片付けられ
たとしても
上原沙也加

2026年1月24日(土)~2月22日(日)

横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室1

開場時間/11:00~18:00 休館日/1月26日(月)



あざみ野 フォト・アニユアル

入場料 一般500円 20歳未満および学生・65歳以上無料

*各種障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は無料(ミラロID可) *2月7日[土]・8日[日]は無料開放日(オープンデー)につき入場無料

主催/横浜市民ギャラリーあざみ野[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

助成/NOMURA 野村財団 協力/MISA SHIN GALLERY

横浜市民ギャラリーあざみ野のシリーズ展

「あざみ野フォト・アニマル」では、写真表現の現在を切りとる企画展と横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展を毎年同時開催しています。2025年度の企画展では、注目の若手写真家・上原沙也加の個展を開催します。

本展では、90年代に沖縄に生まれた上原による、生活と地続きにある風景とそこに残された痕跡を丁寧に掬い取るようなアプローチに注ぎます。出品作は、2016年から2022年にかけて沖縄島で撮影されたカラーのシリーズ「眠る木」と、最新作「前の浜」、そして2023年から取り組みはじめた台湾に取材したモノクロのシリーズ「緑の部屋」（「幽霊たちの庭」「花売りのおばあさん」「アメリカの村」「平和の島」とカラーのシリーズ「緑の日々」です。既作・最新作から成る全4シリーズの写真群を通して、上原の約10年にわたる取り組みを概観する初めての個展となります。

この展覧会では、上原のレンズが捉えてきた、多様な文化と歴史が嬖のように折りたたまれた「場所」と「時間」を見つめることで、鑑賞者がその土地を一步一步あるくように、沖縄と台湾、それぞれの風景に立ち止まることができる機会となることを願っています。

「前の浜」



「緑の日々」



「緑の部屋」



関連イベント

◆アーティストトーク

【日時】 1月24日(土)13:00-14:00
【出演】 上原沙也加(出品作家/写真家)
【会場】 2F セミナールーム 2・3
【定員】 60名(先着順、要事前申込)
【料金】 無料(要展覧会入場券)

※保育利用可(有料・予約制/4日前まで)

◆対談 上原沙也加 × 長島有里枝

【日時】 2月14日(土)17:30-19:00
【出演】 上原沙也加(出品作家/写真家)
長島有里枝(写真家)
【会場】 3F アトリエ
【定員】 60名(先着順、要事前申込)
【料金】 500円

◆担当学芸員によるギャラリートーク

【日時】 2月7日(土)14:00-14:30
【会場】 展示室1
事前申込不要、参加無料

※申込方法・詳細はウェブサイトをご確認ください。

同時開催

開館20周年記念

横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展

グンダー・カンマー

「Mr. ネイラーの驚異の部屋」(展示室2)

入場無料

お問合せ

横浜市民ギャラリーあざみ野

(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3

アートフォーラムあざみ野内

Tel. 045-910-5656 <https://artazamino.jp/>

SNS[Facebook / X / Instagram]@artazamino

交通

東急田園都市線「あざみ野駅」東口 徒歩5分

横浜市営地下鉄「あざみ野駅」1・2番出口 徒歩5分

駐車場: 23台(有料)

※駅からのアクセスがご不安な方はご相談ください。



施設
バリアフリー情報



上原沙也加

うえはら・さやか

1993年沖縄県生まれ。
写真家。主な受賞に、
第36回写真の町東川賞新人作家賞(2020)、
「VOCA展2024 現代美術の展望」
―新しい平面の作家たち―VOCA奨励賞、
大原美術館賞(2024)、
出版物に『眠る木』(赤々舎、2022)がある。
風景のなかに立ち現れる記憶や傷跡、場所や物が
保持している時間の層を捉える実践として、
写真作品を制作している。現在、沖縄県在住。



横浜市民ギャラリーあざみ野
Yokohama Civic Art Gallery Azamino